

るため、手を取りあって、夢を持って大きな海原を進んで行こうではないか。

現在世界 151ヶ国に16,642クラブがあり、777,250人の会員をようしている。日本では1,294クラブ、会員数69,563人である。ポール・ハリスのまいた1粒の麦はこのように多くのみりをあげたのである。

R.I.会長エルネスト・インパツサイ・デ・メロは「人間に威信を」のターゲットをかかげて、自己の人格の向上と、他人の人間の尊重を力説している。威信を高め人間性を回復して、人類社会への貢献のため励進しようではないか。輝かしい71周年記念日に当り、市内各クラブの街隆昌と会員並びに御家族の御健祥を祈念して一言挨拶とする次第である。

◎記念講演 佐々木基晴

当函館湯ノ川生れの自己紹介に引続き郷土民謡家として「民謡の発祥と変遷」と題し発祥としての歌は主として権力者に対し住民の気持を訴える一つ的手段として亦発祥地は立として東北六県及九州地方の農業地帯であり、平和を楽しむ祭り事につけ歌われて来たもので、時代の流れとともに人口の移動が行われ、江差追分となり、盆歌となり、氏の民謡家としての美声を通じ蘊蓄をかたまけ愉快に説明をして会員を魅了させた。

◎出席報告 外村 一也

5クラブ合同会員数 389名
出席会員数 300名

次回例会日 3月10日

プログラム 『未定』



第351地区

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

「To Dignify the Human Being;

「人間に威信を;

(Ernesto Imbassahy de Mello R.I. 会長指針)

第589回例会

1976~1977 第35号 1976. 3. 10



深瀬 鴻一郎

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム
「郷土史—函館の歴史」
称名寺住職(しょうめようじ)須藤 隆仙

第588回例会記録

- ◎司 会 成田 勇司会長
◎ビジター 小樽南R.C. 小松 清君
函館R.C. 豊山 嶺勇君 他5名
函館東R.C. 太田 恵丈君 他3名
五稜郭R.C. 柳沢 勝君 他4名
亀田R.C. 工藤 隆司君
◎ゲ ス ト 国松 登氏 一国会会員・札幌西R.C.



函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第590回例会

1976~1977 第36号 1976. 3. 17

「To Dignify the Human Being:
人間に威信を、
(Ernesto Imbassahy de Mello R.I. 会長指針)」



深瀬 鴻一郎

◎会長報告

本日は3月3日桃の節句であります。道庁の爆破事件、ロッキード事件等、世状騒然たるものがあります。古くは江戸末期に起りました桜田門外の変も3月3日でございます。ともあれ、皆様本日は多数御出席いただきまして有難度うございます。

日本経済は相変わらず不況に喘んでおりますが、賃上げの時期を迎えております。早稲田大学の名和田教授の試算によりますと、昭和49年度の貸銀上昇率でいくならば、現在年取150万円の方は15年後には何と年取1億2千9百万円になり、又現在300円のカラーライスの値段も2万1千300円に成ると云うことでございます。昨今の不況や日本経済の将来を云うもの考えた場合各企業は貸銀の上昇をもっと慎重に考慮されるべきものと思えます。先日、前道知事の町村金吾氏にお合した折にこの旨強く訴えまして、そのすじからも宜しく御指導いただき様お願い致しました。

韓国の東国大校に対し、市内5クラブより仏教典の大藏經100巻(内当クラブより20巻)贈呈し、去る2月14日に東海飯店に於て5クラブ会長と韓国より朴照永氏が出席され伝達式が行われましたが、本日当クラブ宛に朴照永氏よりいねいな御礼状がまいっております。

◎幹事報告

1. 3月17日の例会は夜間例会に成ります。例会に引続きアッセンブリーが行われる予定です。尚、場所・時間等は後程御連絡致します。
2. 3月14日交換学生に加藤美智子さんが留学先のオーストラリアより帰国されますので御都合の宜しく会員は出迎えて下さい。
3. 3月15日の亀田クラブ例会は夜間例会です。場所は東山町の「ミコノス」で行われます。時刻は午後6時です。

◎職業奉仕委員会

職業奉仕活動の一端として「四つのテスト」を希望者に配布致しました処、20名の申込みがありました。本日文注致しておりました印刷物が着きましたので配布致します。

◎ニコニコボックス

田中幸一会員 合同例会欠席のおわび
大島 会員 今年の3月第一例会に入会以来満1年を無欠席で迎える事が出来ました
松本 会員 春が近づき、今日は桃の節句、会員のお嬢さんの健康と御多幸を折って
下郡山・角谷両会員 希望の大学にお子様が進学出来たことを祝って

◎卓話 「文化と美術」国画家々々 国松 登氏

文化とはそれ自体独立した概念ではなく、その国の本質文化とも云うべき政治経済の在方の下に、必要文化・応用文化たる教育、芸術、宗教、スポーツ等が存在するものであり、従って一国の文化の高低はその国の政治経済がどの様なものであるかと云うことに影響される処が大きい。北海道文化の基礎を成す函館＝松前文化をその意味からとらえると、札幌を中心とする道央文化よりもむしろ東北文化により近いものと考えられる＝洋画家であり、又文化団体の活動家として「文化」をとらえ、北海道の文化・函館圏の文化の本質を論じられた。

◎出席報告

会 員 数	62名	出	函 館 北 (/)	
出 席	51名		函 館 東 (2/17)	98.00%
欠 席	11名	席	函 館 (2/19)	90.98%
他クラブ出席	9名		函館五稜郭 (2/20)	100%
出席合計	60名	率	亀 田 (2/16)	84.85%
出席除外者	0名			

次回例会日 3月17日

プログラム 『夜間例会』

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

[夜間例会及びクラブアッセンブリー]

第589回例会記録

◎司 会 成田 勇司会長

◎斉 唱 我等の生業

◎ゲ ス ト 須藤 隆仙氏(称名寺住職)

佐藤 豊君・垣野 明君(函館大学ローターアクトクラブ)